

**特集** **ステップワールド卒業生の声**

～今、ステップワールドで学んでいる皆さんへ～

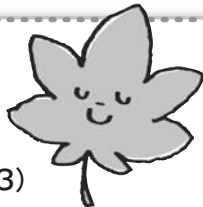
今年もステップワールド英語スクール(旧旺文社LL教室)の卒業生からメッセージをいただきました! ステップワールドでの経験はそれぞれに貴重な財産となって、その後に大きくつながっているようですね。今号では、その一部をご紹介します。

*下記掲載以外にもたくさんのメッセージが寄せられています。ステップワールドHPでご覧いただくことができます。
(本年度分は12月初旬より掲載予定⇒<http://www.step-w.com/voice/>)

**「LL教室がもたらしてくれたもの」**

立命館大学 産業社会学部 1年

S.M.さん (長野県飯田市、平安堂教室・小1～高3)



私がLL教室で得た一番大きなことは英語自体を好きになれたことだと思います。小さい頃からゲームや絵本、歌などで耳と身体に英語を浸透させる教育方法がとても効果的だったのだと思います。また、毎年のスピーチコンテストの際、何度も練習して暗記することでたくさんの単語や言い回しを耳が覚えてくれましたし、ネイティブの先生に発音をみてもらえたことも、他では得られなかった機会だと思います。

単純な「英語の勉強」ではなく、このような楽しく遊んでいく感覚で英語に触れられたことは、学校の英語を勉強する上で、LL教室に通っていない生徒との基礎的な能力の違いをもたらしてくれました。

そして、それは現在の私にも英語や国際的な興味、レベルの高い発音、リスニング能力といった様々な一生ものの宝を残してくれたと思っています。おかげで現在、大学で外国人の友達と充実した学生生活を送っています。みなさんも充実した楽しい将来を期待しながら、LL教室で英語を楽しんでいってください。

**「スピーチコンテスト」**

同志社大学 文学部 3年

M.I.さん (兵庫県西宮市、西宮大森教室・小4～高3)

LL教室の一大イベントにスピーチコンテストがある。小学生を対象に開かれる英語のスピーチ大会であるが、私は小学5年生のときそれに参加し、優勝することができた。

私は日々、CDに向かってリピートする練習を繰り返していた。ある日のスピーチ練習、私は普段自室で練習している声で教室の皆に向かって話したところ、声が小さいということに指摘され、そこで初めて話し方というもの意識した。人前で話すコツなどを教えてもらい、そうして人前で話し方を学んだ。授業中、先生に連れられ皆で教室を出て、近所の空き地で一斉にスピーチの声出しをしたこともいい思い出である。

あれから私は英語を話すことに一層の興味を覚えた。コンテストの翌年に開かれた、外国人を小学校に招待するイベントでは、司会を務め英語で彼らを迎えた。コンテストでの経験が自信につながり、日々の生活に作用していく。ここでの経験で得られたものは多く、私にとって大きな意味を持っているのである。

「私の原点」

神田外語学院 英語専攻科 1年

A.I.さん (千葉県船橋市、習志野台教室・小5～高3)

私にとってこのスクールで学んだ8年間は今の私の原点だと思います。初めて英語に触れたのが小学5年生の時でしたが、ゲームなどを通じて自然と身につけ、先生や友達と会うのも毎週楽しみにしていました。中学高校でも英語が一番好きで得意教科となり、勉強していることを実際に使ってネイティブの先生や留学生と話せた時はうれしく、英語をもっと知りたい、話したいと思いました。そして今、学校では英語でプレゼンテーションや話し合いなどする機会が毎日のようにあり、アルバイトでは講師として、またステップワールドに通えることをうれしく思います。

習い事の一つとして始めた英語が、こんなにも今の私とかかわっていることは、8年前に英語と出会えたからです。どんなに小さくてもかまいません。何か一つ目標をもって楽しみながら勉強することによって、将来への視野も広がり、たくさんのことに興味を持てるようになると思います。これからも一日一日、充実した学生生活を送ってください。

「LL教室で過ごした時間と現在の私」

南山大学 外国語学部英米学科 3年

S.O.さん (愛知県日進市、LL日進駅前教室・小6～高3)

LL教室の小学生クラスでは、教科書やワークを基本に、習った英文を使ったactivityを楽しくやり、自宅ではCDを聴いたり宿題をすることが苦になることはありませんでした。スピーチコンテストのrecitationは、本番での緊張はありましたが、テープを何回も聴いて覚えることは無理なく出来ました。中学生になると、学校の教科書では不足しがちなリスニング力が、GCのmodel conversationの内容を一つ一つ追いついていくと、自然に養われました。こうして、英語を勉強することが、たとえ1日当たりの時間は短くても、習慣になったのは大きかったと思います。

私は大学の最初の2年間で、集中的に英語の総合力を高める授業を受けました。それは英語でのcommunicationを可能にするためです。先に述べたLL教室での学習を経て、ディベートやプレゼンのある大学のオーラルコミュニケーションの授業についていくことの土台ができたのではないかと思います。

現在3年生になり、アメリカで使用されているアメリカの歴史についての教科書を読んでいます。さらなる英語力の必要性を感じています。大学で多くの方が読むことになる英語で書かれた教科書に、充分対応出来るように、LL教室でたくさん勉強してほしいと思います。

